

施工位置図  
縮尺 1:10,000

縮尺 1:10,000



添架管設置工  
HPPE  $\phi 150 \times \text{SDP } \phi 300 / \text{STK400 } \phi 318.5 \text{ L}=63.8\text{m}$

八幡平市役所

岩手松尾  
960543A  
岩手松尾(付)

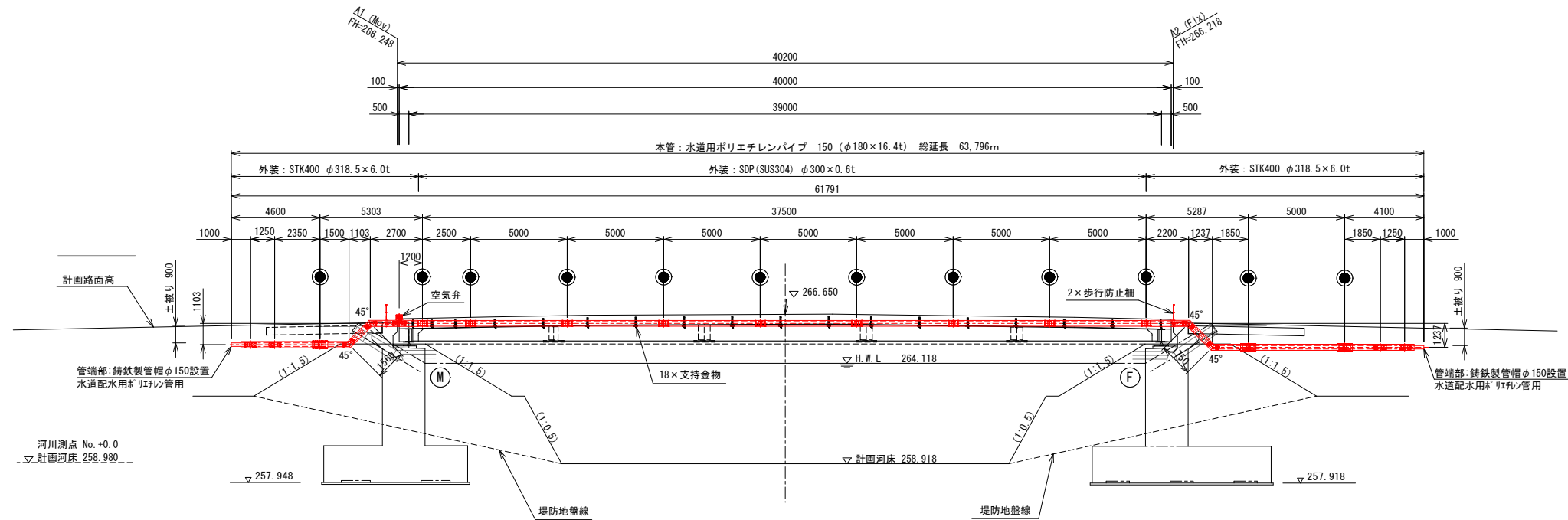
令和7年度

工事名	統合事業配水連絡管整備事業配水管 布設工事（柺沢大橋2工区）		
図面 名称	施工位置図		
縮尺	1:10,000	図面 番号	1
事業者	八幡平市		

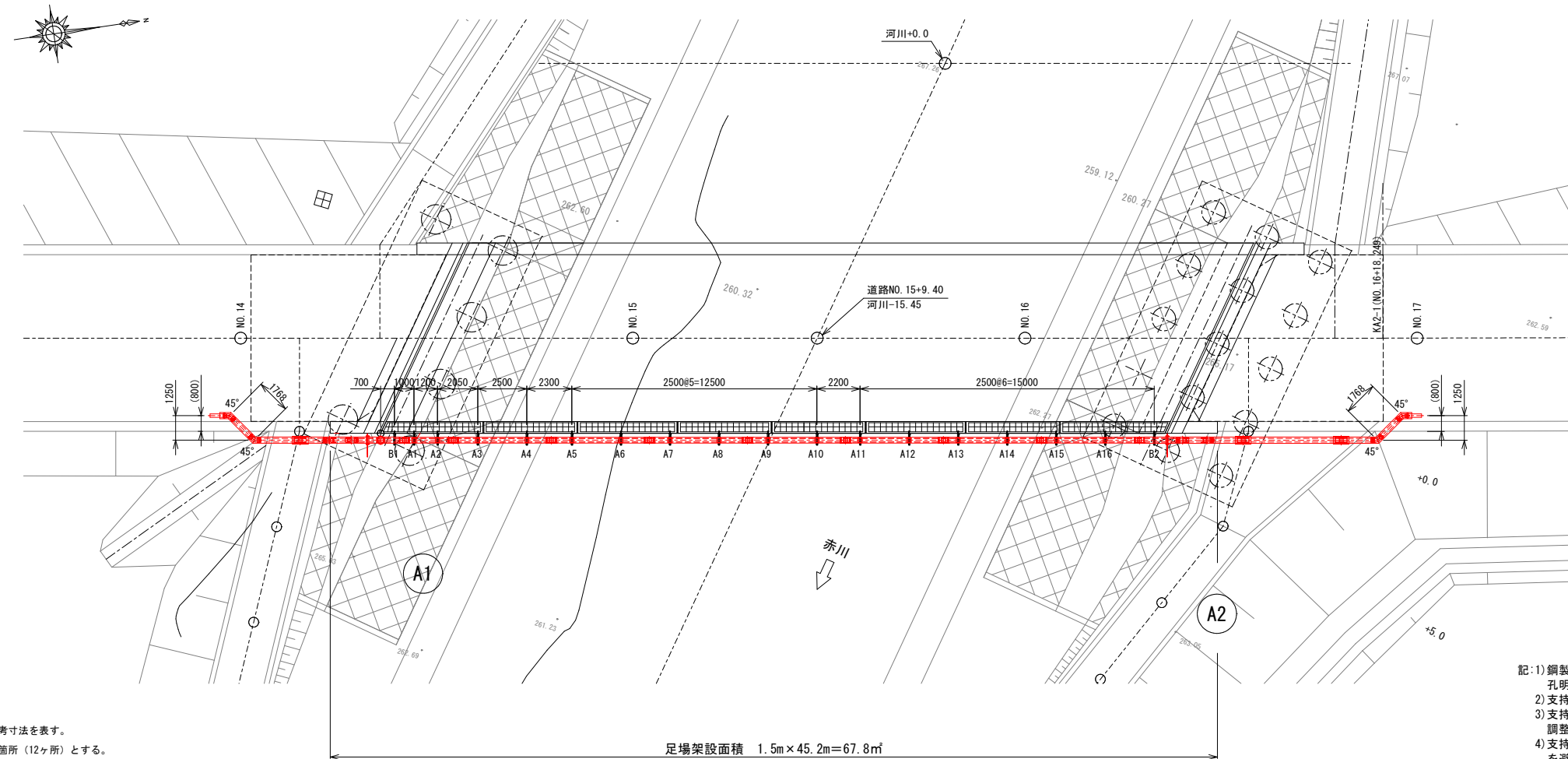



橋梁添架管 平面図, 側面図, 断面図

側 面 図  
縮尺 1:150



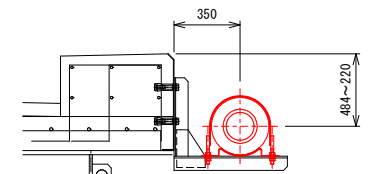
平面図  
縮尺 1:150



備考：・（ ）寸法は参考寸法を表す。  
・は現地融着箇所（12ヶ所）とする。  
・製作前に現地に於て再度寸法を確認のこと。

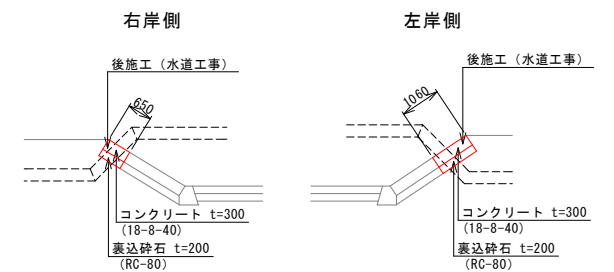
- 記:1) 鋼製型枠は、工場製作時に支持金物用アンカーの位置を  
孔明すること。
- 2) 支持金物用アンカーは、先打ち施工とする。
- 3) 支持金物用アンカーは、地覆鉄筋等に干渉しない位置に  
調整すること。
- 4) 支持金物用アンカーは、現地での水道管の電気融着箇所  
を避けること。
- 5) 支持金物の設置間隔は、3m以内とする。

## 断面図

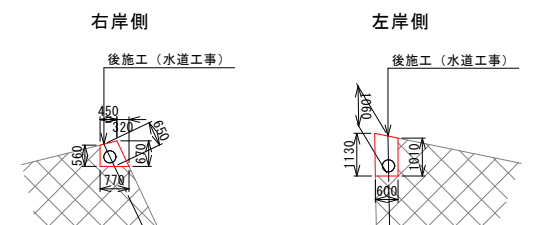


支持金物、インサートアンカー材、ボルト材は別途工事とする。

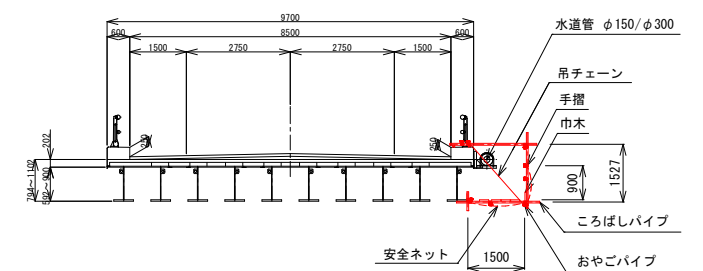
護岸工側面図  
縮尺 1:100



護岸工展開図  
縮尺 1:100



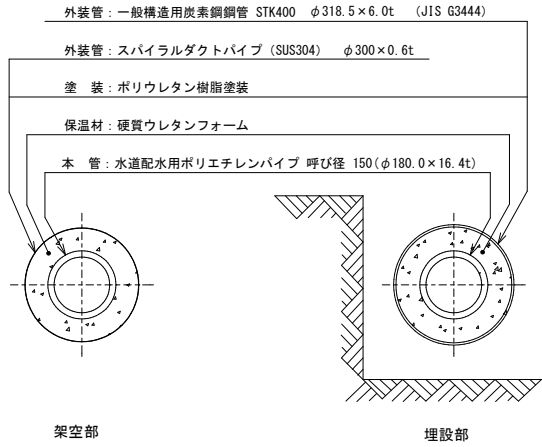
足場工断面図 (参考図)  
縮尺 1:100



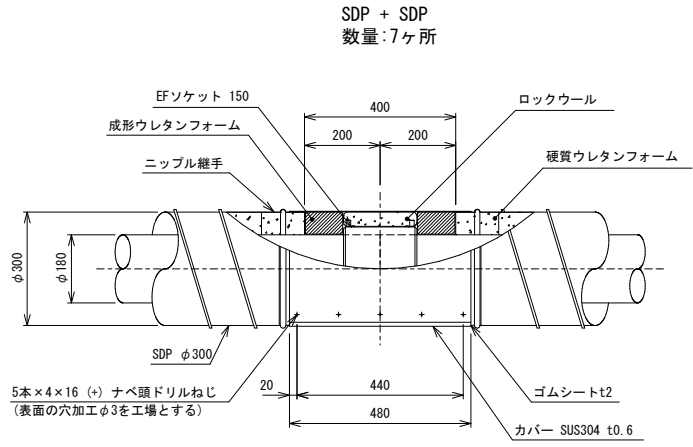
令和7年度			
工事名	統合事業配水連絡管整備事業配水管 布設工事（柗沢大橋2工区）		
図面 名称	橋梁添架管 平面図, 側面図, 断面図		
縮尺	1:150, 1:20	図面 番号	2
事業者	八幡平市		

橋梁添架管 各部詳細図(1)

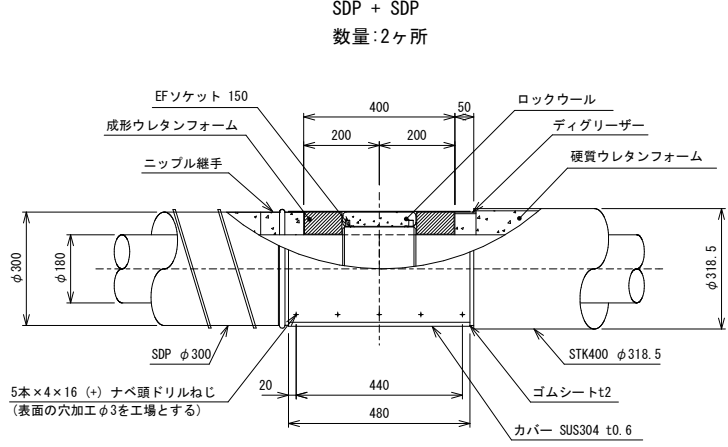
二重管保温工図  
縮尺 1:10



管接続部  
縮尺 1:10

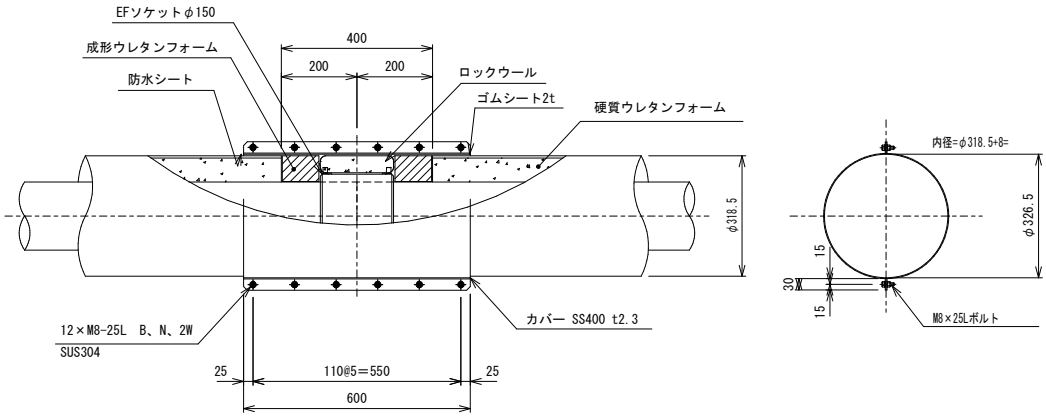


管接続部  
縮尺 1:10



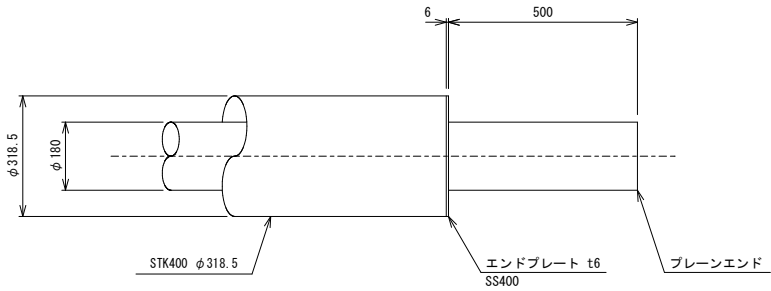
管接続部  
縮尺 1:10

STK + STK  
数量:3ヶ所



管端部詳細図  
縮尺 1:10

数量:2ヶ所



- 記:1) 銅製型枠は、工場製作時に支持金物用アンカーの位置を孔明すること。
- 2) 支持金物用アンカーは、先打ち施工とする。
- 3) 支持金物用アンカーは、地覆鉄筋等に干渉しない位置に調整すること。
- 4) 支持金物用アンカーは、現地での水道管の電気融着箇所を避けること。
- 5) 支持金物の設置間隔は、3m以内とする。

令和7年度

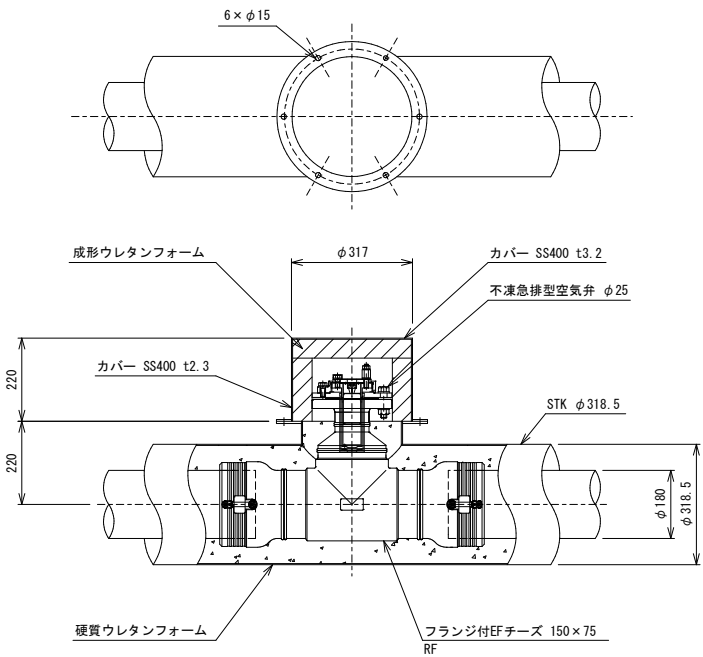
工事名	統合事業配水連絡管整備事業配水管 布設工事（柵沢大橋2工区）		
図面 名称	橋梁添架管 各部詳細図(1)		
縮尺	1:10	図面 番号	3
事業者	八幡平市		

橋梁添架管 各部詳細図(2)

空気弁部詳細図

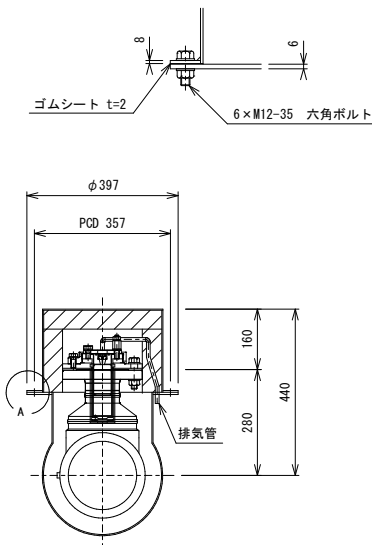
縮尺 1:10

数量：1ヶ所



カバーA部詳細

縮尺 1:5



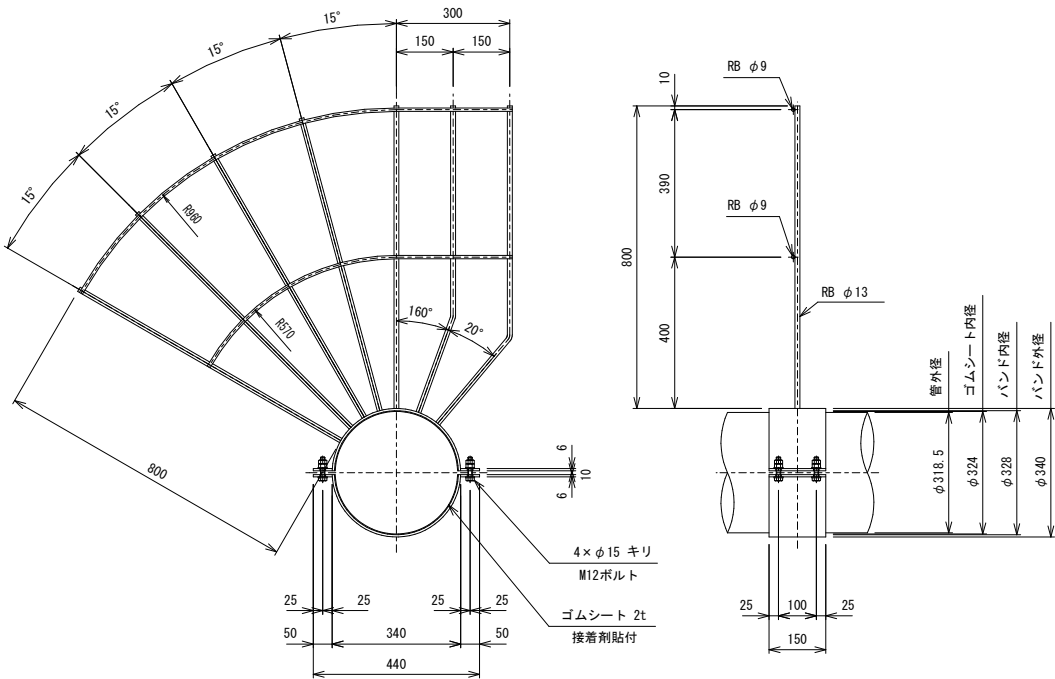
歩行防止柵詳細図

縮尺 1:10

材質：SS400+垂鉛めっき

数量：2組

※内1組は勝手反対にて製作。



- 記:1)銅製型枠は、工場製作時に支持金物用アンカーの位置を孔明すること。  
2)支持金物用アンカーは、先打ち施工とする。  
3)支持金物用アンカーは、地覆鉄筋等に干渉しない位置に調整すること。  
4)支持金物用アンカーは、現地での水道管の電気融着箇所を避けること。  
5)支持金物の設置間隔は、3m以内とする。

令和7年度

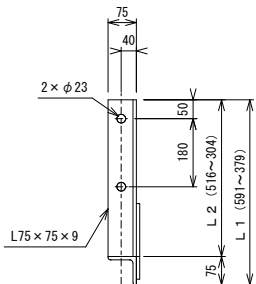
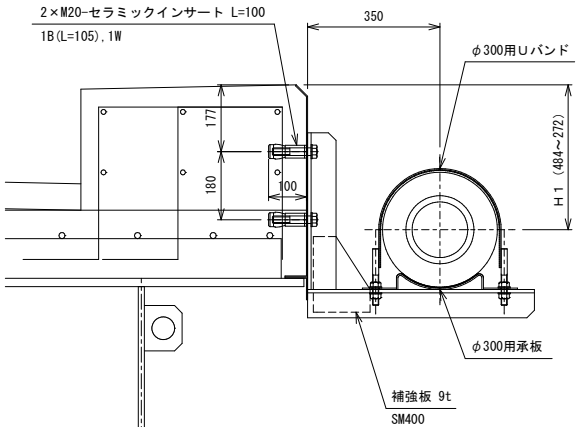
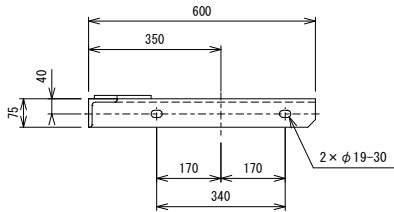
工事名	統合事業配水連絡管整備事業配水管 布設工事（柁沢大橋2工区）		
図面 名称	橋梁添架管 各部詳細図(2)		
縮尺	1:10	図面 番号	4
事業者	八幡平市		

橋梁添架管 各部詳細図(3)

支持金物 A (SDP部) 詳細図

縮尺 1:10

材質：SS400+めっき  
数量：16組



	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 1 0	A 1 1	A 1 2	A 1 3	A 1 4	A 1 5	A 1 6
H 1	272	296	337	383	418	448	468	480	484	478	466	445	414	375	328	274
L 1	379	403	444	490	525	555	575	587	591	585	573	552	521	482	435	381
L 2	304	328	369	415	450	480	500	512	516	510	498	477	446	407	360	306

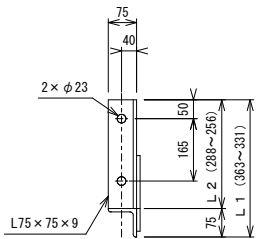
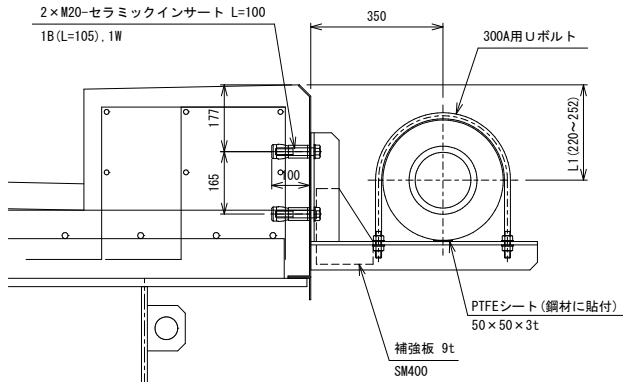
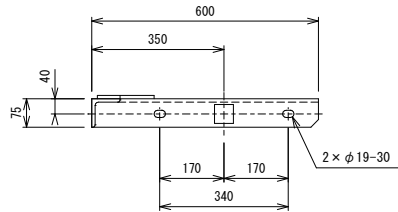
金物製作時、判別できるように番号シール貼付のこと。

G10

支持金物 B (STK部) 詳細図

縮尺 1:10

材質：SS400+めっき  
数量：2組



	B 1	B 2
H 1	252	220
L 1	363	331
L 2	288	256

金物製作時、判別できるように番号シール貼付のこと。

G10

- 記:1)銅製型枠は、工場製作時に支持金物用アンカーの位置を孔明すること。  
2)支持金物用アンカーは、先打ち施工とする。  
3)支持金物用アンカーは、地覆鉄筋等に干渉しない位置に調整すること。  
4)支持金物用アンカーは、現地での水道管の電気融着箇所を避けること。  
5)支持金物の設置間隔は、3m以内とする。

令和7年度

工事名	統合事業配水連絡管整備事業配水管 布設工事（柵沢大橋2工区）		
図面 名称	橋梁添架管 各部詳細図(3)		
縮尺	1:10	図面 番号	5
事業者	八幡平市		